

平成14年度 活動報告書

津幡の水辺を守る会

作成日：平成15年3月31日

目次

- 1 . 会の概要
 - 1-1. 会の概要
 - 1-2. 会の理念と活動方針
- 2 . 活動計画
- 3 . 活動報告一覧
- 4 . 活動報告（詳細）
 - 4-1. 津幡川の清掃
 - 4-2. 水質調査
 - 4-2-1. 河北潟自然再生協議会の水質調査
 - 4-2-2. 津幡川の水質調査
 - 4-2-3. 河原市用水の水質 2 4 時間推移
- 5 . 助成金申請について
- 6 . 決算報告書
 - 平成 1 4 年度決算書

1. 会の概要

1-1. 会の概要

| | | | |
|-------------|-------------------------------------|-------|---|
| 名 称 | 津幡の水辺を守る会 | | |
| 代表者氏名 | 岡山 英一郎 | | |
| 設立年月日 | 平成14年8月22日 | | |
| 所在地 | 石川県河北郡津幡町字太田に201-3 | | |
| 電話番号 | 自宅 076-288-6770 勤務先 076-276-8439 | F A X | 勤務先 076-276-9803 |
| E - M A I L | eokayama@dab.hi-ho.ne.jp | U R L | http://mizube.yupapa.net/ |
| 会員数 | 3名 | | |
| 事業概要 | 津幡町内の水辺の環境をより良くする活動をしています | | |

1-2. 会の理念と活動方針

会の目的

この「津幡の水辺を守る会」は、津幡町内の水辺の自然環境を守り、貴重な水辺の自然を子どもたちに引き継いでいくことを目的に設立されました。

会の活動方針

町が行う水質浄化の取り組みに協力し、住民の自発的な水質浄化活動を押し進める。

生活環境、自然環境を守るため、津幡町の水辺のことを学習する。(河北潟、津幡川など)

(科学的な分析と、多方面からの研究者の助言のもとに、環境問題の解決方法について学習する。)

会の活動情報はオープンにして、誰でもが情報を共有できることを大切にする。多数の一致を見た合意は会の活動方針に取り入れ、必要に応じて行政などへ提言を行う。

次代をになう子どもへの教育のための情報提供を積極的に行う。<子ども向け情報提供ページなど>

会の活動項目

津幡の河川及び河北潟の水質の向上と、自然環境保護のための学習。

観察会、学習会、川の清掃作業

行政の発する情報、研究者の発する情報、他の団体の活動について調査し、現状の整理を行う。

津幡の河川及び河北潟の水質調査を行う(独自に、あるいは役場と共同で)。

河北潟に関しては「河北潟自然再生協議会」に参加して、包括的な環境保護に取り組む。

2. 活動計画

会として次のような行事の活動を計画する

1. 環境保護啓蒙・会の宣伝

パンフレット、ステッカーの作成

公共の場での啓蒙宣伝として、条南祭フリーマーケットへの出店する

ホームページによる活動の紹介

会の紹介、活動報告等を随時ホームページで紹介する。

ホームページの URL= <http://mizube.yupapa.net/>

2. 環境学習

河北潟自然再生協議会に参加協力する

勉強会

活動報告

他の団体等が主宰する自然観察会に参加する

3. 河川清掃活動

津幡川をカヌーを使って清掃する

4. 環境調査活動

水質調査

河北潟自然再生協議会の水質調査への協力

当会独自に津幡町内の河川を水質調査する

調査予定は津幡川の上中下流3地点

河原市用水の水質24時間推移

3 . 活動報告一覧

2002年8月22日 「津幡の水辺を守る会」として協議会に参加

2名(岡山、飯田)で河北潟自然再生協議会の定例会へ参加した。
これをもって、「津幡の水辺を守る会」の結成とする。

河北潟自然再生協議会 第一回定例会の報告

定例会では、参加者による勉強会があり、その後でこれからの具体的な活動について話し合いを行った。

勉強会

河北潟の自然環境について勉強会を開き、「河北潟湖沼研究所」の高橋さんから河北潟に生息する動植物についての報告。

今後の具体的な活動、行政との関係、運営費について議論を行った。

2002年8月25日 「ツバメ観察会」に参加

2名(岡山、こども1人)で森の都愛鳥会主催の河北潟探鳥会「ツバメの観察」に参加。

2002年9月23日 カヌーで津幡川の清掃 (詳細は4-1.津幡川の清掃)

カヌーを使って津幡川の清掃作業を行った。

参加4名(飯田、岡山、渡辺[金沢市・北間]、鹿嶋[金沢市・諸江])
このゴミ拾いは予想以上の成果を上げることが出来た。

9月24日 北国、中日、朝日の各紙に掲載

当会のホームページ

http://mizube.yupapa.net/mizube/file/tsubatagawa_canoe.html

2002年9月26日 河北潟自然再生協議会の第2回定例会に参加

2002年9月29日 「条南祭」のフリーマーケットに出店

条南小学校で開かれる「第2回条南祭」に「津幡の水辺を守る会」として出店した。

フリーマーケットの店頭では会のステッカーとパンフレットを配布。

2002年10月24日 河北潟自然再生協議会の第3回定例会に参加

今回は、石川水辺研究会の櫻井さんが、霞ヶ浦におけるNPO活動について発表された。

流域の学校・研究者、事業者、行政が参加する市民主導型の協働プロジェクトによって、流域に循環型の社会システムを実現しようという、霞ヶ浦での先進的な活動など、興味深い発表内容。

2002年11月23日 「河北潟自然再生協議会」が行う河北潟の水質調査に参加

11月23日 午前10:00より「河北潟自然再生協議会」は、湖南水辺公園にて水質調査の公開打ち合わせを行った。

津幡からは当会と条南小学校の生徒18名・先生3名が参加した。

テレビのニュースへも放送された。

市販のCODパックテストなどを使って行う簡易的な測定だが、河北潟の水質の全体像を把握するための貴重なデータが作成されるものと期待される。

2002年12月23日 河北潟水質調査

河北潟水質調査 河北潟自然再生協議会の水質調査

2002年1月26日 河北潟水質調査、津幡川水質調査

河北潟水質調査 河北潟自然再生協議会の水質調査

当会の津幡川水質調査 津幡川の上流、中流、下流3地点で実施

2002年3月23日 河北潟水質調査、津幡川水質調査

河北潟水質調査 河北潟自然再生協議会の水質調査

当会の津幡川水質調査 津幡川の上流、中流、下流3地点で実施

2003年3月27日 河北潟自然再生協議会の定例会

津幡町・条南小学校の飯田先生が、河北潟の生き物たちを写真やビデオ映像で紹介するCDを作成し、協議会の場で発表された。

子どもが見ても大人が見ても、分かりやすく動植物が紹介されている。

また協議会の場では、大浦で有機栽培を続けていらっしゃる、かつら巻さんの有機農業について、かつら巻さんご自身から話をいただいた。

4 . 活動報告 (詳細)

4-1. 津幡川の清掃

2002 年 9 月 23 日 カヌーを使って津幡川の清掃作業を行いました。
津幡高校横の太白橋～川尻水門の約 2 . 2Km 区間
(北国、中日、朝日新聞の地方版に、22 日と 24 日の両日掲載されました
大きな「たらい」や「大型のカヌー」をゴミ運搬船にして、カヌーで引っぱります。
そして、熊手や網などを使って、川岸に漂着しているゴミを拾い集めます。

参加者 4 名

- 飯田 : 当会 - (発案者)、2 人乗りカヤックに乗艇
- 岡山 : 当会 - ダウンリバーカヤックでカナディアンを牽引
- 渡辺 : 金沢市・北間 - 特別製 2 人乗りカヤックに乗艇
- 鹿嶋 : 金沢市・諸江 - オールラウンド艇でたらい牽引を担当

安全第一

水上の作業では、安全の確保が第一を心がけた。
上流域での雨量や川尻水門の開閉も事前に確認した。
参加者は、全員 PFD (浮力付きジャケット) を着用し、互いを確認できる範囲で
行動した。

下準備 - 下見

9 月 15 日、岡山は太白橋～川尻水門まで、カヌーで下見した。
白鳥橋 - おやど橋のカーブは風情のあるところだが、川岸にゴミがいっぱ
い漂着している。
水門近くの下流部にも、大きなゴミが見つかった。
川辺には水鳥、水中には大小様々な魚がいて、思ったより自然の豊かな川
だと感じた。
全て人口護岸になっているのに、わずかな生活の場所で水辺の自然は、た
くましく生きている。

その後、17 日に川尻水門が開き、ゴミもたくさん河北潟へ放出された。
回収するゴミは減ったようだ。
(しかし、実施後にゴミの多さに驚くことになる)

下準備 - 土地の人への周知と理解

太白橋のたもとには、いくつかの区画で、種々の畑がある。
下見にいったときに出会った人たちにゴミ拾いの予定を話す。

河原市用水からのゴミ流入が多いという情報を得る。
たまに工場からの廃液だろうけど、何時間も水の色が変わったと聞く。
集めたゴミの回収予定場所と、後で土木事務所の業者が回収する旨を説明する。

下準備 - 行政との連携

実施前に、ゴミの処理方法について町の環境安全課に相談した。(環境係：庄田さん)

津幡川は、県(津幡土木事務所)が管理しているので、町の建設課を通して土木事務所と調整して頂けるとのこと。

担当者不在で、翌日もう一度連絡を取った。

建設課：松田さんが津幡土木事務所に連絡を取り、おやど橋から少し上流の実生保育園近くの中州(泥が溜まったところ)にゴミを集めておけば、土木事務所の指定業者が回収するという返事をいただいた。

しかし、翌日、現場を確認すると、その中州は足場が悪く、岸に上がる場所もない。

ここでは回収が困難と判断して、土木事務所へ連絡した。

管理係の山中さんが電話に出て、こちらの指定場所(太白橋たもとの畑の空き地)に変更をお願いすると、すぐに了承された。

ゴミ拾いのもよう

下流でゴミがたくさん見付き、大型のカナディアンも一杯になった。

ゴミ拾いの道具は、熊手や網、炭をつまむ道具など、各自でくふうした。

たらいを引っぱと、ゴミを移すときに一気に移せることが分かった。

川に放置してあった自転車まで回収し、重くなったカナディアンを2Km 上流の出発点まで引いた。



このカヌーゴミ拾いの成果は、予想以上の量(軽トラ2回分)になり、津幡川の下流域のゴミはほとんど取り除くことが出来た。

活動を知って外部から参加して頂いた渡辺さん、鹿嶋さんに感謝したい。



報道

「カヌーで川の清掃」というニュース性もあり、朝日、北国、中日の各紙に掲載された。

今回の清掃を振り返って

清掃を行うにも、大量のゴミが出るので、地元の同意から後始末まで考えておかなければならない。

今回はトラブル無く、ゴミの最終処理もスムーズに行われた。

カヌーを使ったことの意義

今回のゴミ収集は、かなり効率よく成果を上げることが出来た。

カヌーという水上の運搬手段を操作しながらなので、集めたゴミを持ちながら歩かなくてもよいこともある。

今回のように、たらいや、2人乗りカヤックで小回り良く集めたゴミを、運搬用の大型カヌーへ移しながら作業すれば、少人数でも多くのゴミを回収できる。

また、話題性の点から新聞等にも取り上げられ、川の環境について考えることの啓蒙に役立ったと感ずる。

津幡川からごみ続々

カヌー愛好者が清掃奉仕

津幡町と金沢市のカヌー愛好者四人は二十三日、同町津幡川の川面や岸のごみをカヌーで拾い集めた。ごみは続々と引き上げられ、軽トラック約二台分にあふれ、町の中心部を流れる同川の汚れが浮き彫りとなった形である。参加者は今後も川をきれいに保つためのボランティア活動を積極的に展開していく方針である。

本紙報道き
つかけに **金沢からも応援**



カヌーでごみ拾いを行った4人。けん引した3人。乗りのカヌーがごみでいっぱい。津幡町の津幡川。

参加したのはボランティアグループ「津幡の水辺を守る会」のメンバーである会社役員岡山英一郎さん、同町太田一と小学校教諭飯田淳一さん、同町南中条一、趣旨に賛同した印刷業渡辺寛さん(金沢市北間町)と団体職員鹿嶋達明さん(同市諸江町)の四人。本紙などの報道をきっかけに参加した鹿嶋さんは金沢市の為野川で子どもたちと同様の活動を行っている。

カヌーに乗った四人は津幡町加賀爪の太白橋から同町川尻の川尻水門までの約二キロ間を往復

し、ゴミ袋などを使いながら、ペットボトルやビニール袋、発泡スチロールなどのごみを約四時間に取り戻した。各自を捨てないようにはほの「カヌーだけでなく、けい」と話した。

けん引した三人乗りの大型カヌーにもごみがいっぱいになり、嵩み上げられ、嵩山さんは「川や用水にごみを捨てないようにはほの「カヌーだけでなく、けい」と話した。

4-2. 水質調査

4-2-1. 河北潟自然再生協議会の水質調査

河北潟自然再生協議会が河北潟の水質調査を行うことになり、当会は津幡に近い区域を受け持つことにした。

水質調査グループにて、事前打ち合わせを行った

- 受け持ち地域、調査地点の確認
- バケツ、温度計、ペットボトルを利用した簡易透視度測定器の制作
- 調査日時について
- 担当者へ水質調査用測定パックの配布

実施

平成14年11月から平成15年3月 5回の水質調査に協力した

実施日

- 11月23日
- 12月23日
- 1月26日
- 2月25日
- 3月23日

4-2-2. 津幡川の水質調査

河北潟自然再生協議会の水質調査をうけて、当会独自に津幡町内の河川の水質調査を行うことにした。

調査方法は河北潟自然再生協議会の水質調査に準ずるものと、用水の24時間水質推移の2つの方法で行う。

- 津幡川の3地点（上流、中流、下流）
- 測定用具は河北潟自然再生協議会の水質調査に準ずる

実施

津幡川の上流1、中流2、下流1 の4地点

平成15年1月から2回の水質調査を行った

実施日

- 1月26日実施
- 3月23日実施

調査結果

各地点に置いて、COD、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リンの調査を行った各調査地点に於いて、河北潟に比べ各調査項目の濃度は低い値を示した。

COD値 平均 2 mg/l

亜硝酸性窒素、硝酸性窒素 0または0に近い値を示した

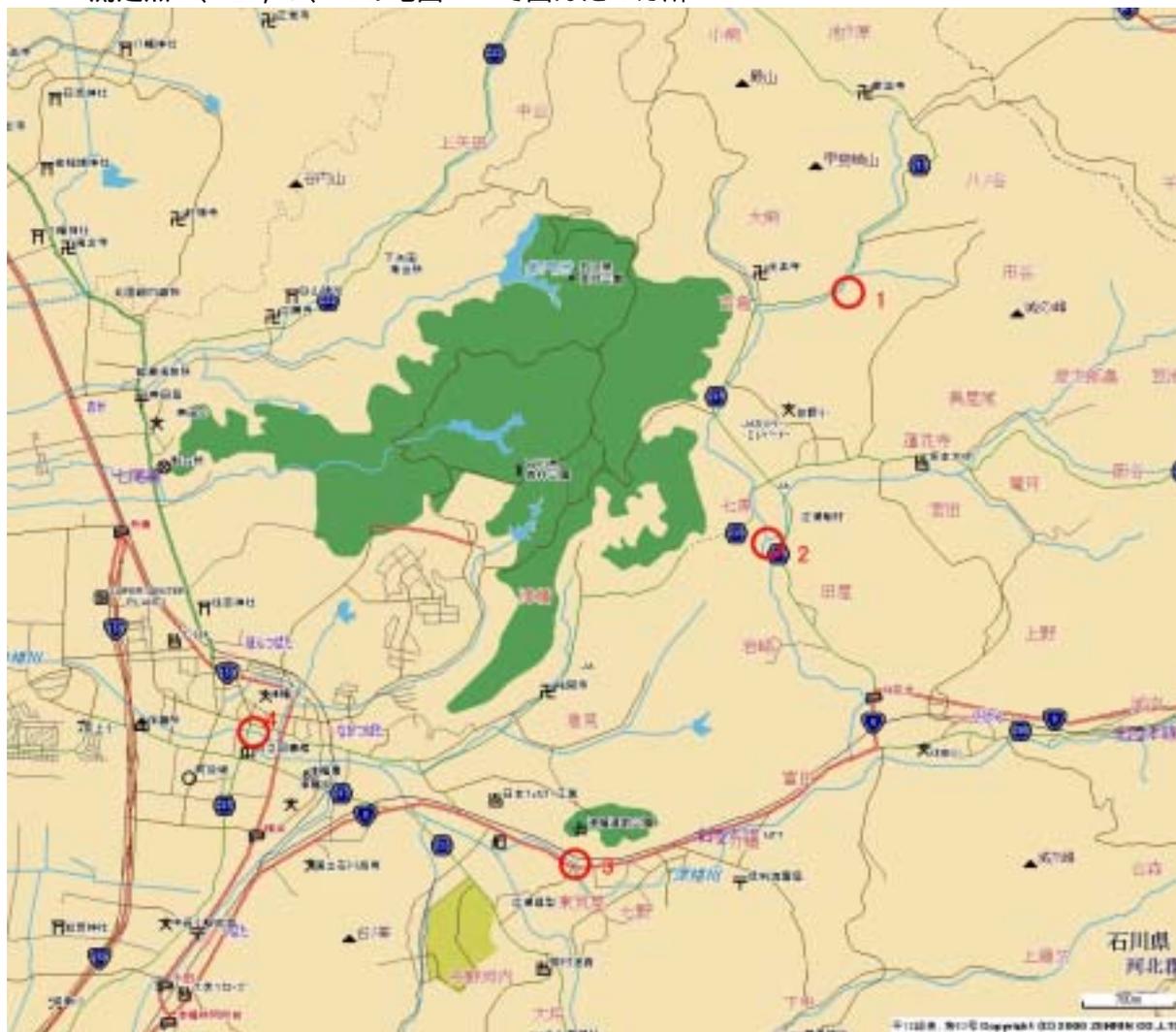
リン酸性リンは、全て0を示した

水質調査結果の検証

下流へ行くにしたがって水質は大きく悪化すると思われたが、予想に反して上流、中流、下流での大きな差は現れなかった。

冬時期の2回の調査では、統計的にデータが少なすぎるため、来年度も調査を継続してグラフ化をする等して分析を行いたい。

測定点1、2、3、4の地図 で囲んだ4カ所



4-2-3. 河原市用水の水質 24 時間推移

河原市用水の水質 24 時間推移については、予定していたが測定をする時間が調整できず、次年度に持ち越しになった。

農業用水としての水質、生活排水との関連を調べる上で重要な調査で、COD、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リンに加えて、pH 値、残留塩素の調査も行う。

このため、購入してある水質調査パックの多くが使用されずに残ってしまった。これらのパックは使用期限に余裕があるため、次年度での調査に使用していく。

5 . 助成金申請について

(社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議の環境保全活動支援助成金を申請することにした。

事業規模から、スタートアップ助成を申請することとする。

申請後、(社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議から助成が決定した旨連絡を頂いた。助成金の交付には予算書、活動報告書の提出が必要なので、様式に記入して提出する。

この制度に思うこと

個人のポケットマネーで存続している小さなボランティア活動を、このような助成金制度が助けることは、活動の質の向上と広がりにつながると思う。

6 . 決算報告書

平成14年度決算書 (エクセル文書形式ファイルの出力)

平成14年度決算書

津幡の水辺を守る会

平成15年3月31日作成

【収入の部】

(単位:千円)

| 大科目 | | 本年度収入額 | 備考 |
|----------|---------------------------------------|--------|----|
| 大科目 | 科目 | | |
| 1.会費収入 | | 2,000 | |
| 2.補助金等収入 | | | |
| | (社)いしかわ環境パートナーシップ県民 会議 環境保全活動支援助成金 | 20,000 | |
| 3.負担金収入 | | | |
| | 個人負担金収入 | 52,673 | |
| 4.寄付金収入 | | | |
| | 寄付金収入 | 0 | |
| 5.雑収入 | | | |
| | 条南祭フリーマーケット売上金 | 1,630 | |
| 6.繰入金収入 | | 0 | |
| | 当期収入金額(A) | 76,303 | |
| | 前期繰越収支差額 | 0 | |
| | 収入合計(B) | 76,303 | |

【支出の部】

(単位:千円)

| 大 科 目 | | 本年度支出額 | 備 考 |
|------------------------|--------|---------------|-----------------|
| 科目 | 中科目 | | |
| 大科目 | | | |
| 1.事業費 | | | |
| -1 環境保護啓蒙、会の宣伝費 | | | |
| 1) 回覧板制作 | | 368 | (用紙代) スガイへ支払い |
| 2) パンフレット制作 | | 2,797 | (インク・用紙代) ヤマダ電機 |
| 3) ステッカー制作費 | | 19,950 | ホザキ・シールへ支払い |
| -2 河川清掃活動事業費 | | | |
| 1) 津幡川清掃活動費 | | | |
| ゴミ袋・ブルーシート代 | | 788 | コメリで購入 |
| 2) 運搬用カー購入 | | 20,000 | カーあいらんど |
| -3 環境調査活動事業費 | | | |
| 1) 津幡町内水質調査 | | | |
| 水質調査パック購入費 | | 29,400 | 合同出版(株) |
| pH 測定パック | ¥4,200 | | |
| 残留塩素測定パック | ¥4,200 | | |
| COD 測定パック | ¥4,200 | | |
| 低濃度 COD 測定パック | ¥4,200 | | |
| 亜硝酸測定パック | ¥4,200 | | |
| 硝酸イオン測定パック | ¥4,200 | | |
| リン酸イオン測定パック | ¥4,200 | | |
| -4 その他 | | | |
| 1) 河北潟自然再生協議会 会費 | | 2,000 | 河北潟自然再生協議会 |
| 2) 糸南祭フリーマーケット出店費 | | 1,000 | 糸南祭 |
| 当期支出合計(C) | | 76,303 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | | 0 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | | 0 | |